

## 米国カリフォルニア州 ネーブルとマンダリンの2024-25年度当初予測

[Citrus Industry 2024年9月20日](#)

カリフォルニア州食品農業局(CDFA)は米国農務省農業統計局と共同で、カリフォルニア州のネーブルオレンジと一部のマンダリンの収穫量について、2024-25年度の当初予測を発表した。

**ネーブルオレンジ** [カリフォルニア州の2024-25年度産ネーブルオレンジ出荷量の当初予測](#)は、前年比2%増の7,800万箱である。この予測は、6月8日から8月25日までに実施された調査に基づいている。この予測には、慣行栽培、有機栽培、及び特殊なネーブル品種(カラカラ、ブラッドオレンジ等)が含まれる。

調査データによると、果樹1本当たりの着果数は前年比24%増の414果であった。9月1日現在の果実の平均直径は前年比5%減の2.06インチであった。結果面積は11万エーカーと推計され、1エーカー当たりの収量は709箱と予測される。

カラカラオレンジの生産量は900万箱と予測される。調査データによると、果樹1本当たりの着果数は前年比10%増の301果で、5年平均の262果を15%上回った。9月1日現在の果実の平均直径は2.14インチで、前年を2%下回り、5年平均の2.18インチを2%下回った。

**タンゴ及びダブルマーコッタフーラー品種** [カリフォルニア州の2024-25年度のタンゴとダブルマーコッタフーラー品種マンダリンの予測出荷量](#)は、40ポンド箱で2,900万箱である。この予測は、7月1日から9月1日までに実施された調査に基づいている。

調査データによると、果樹1本当たりの着果数は前年比12%増の666果であった。9月1日現在の果実の平均直径は1.3インチで、これらの品種の前年との比較で8%増加した。結果面積は3万3千エーカーと推計され、1エーカー当たりの収量は40ポンド箱で879箱と推計される。過去の最終生産予測は、[こちら](#)

出典: CDFA

(1インチ=2.54センチメートル、1エーカー=約0.4047ヘクタール、1ポンド=約0.4536キログラム)

## (関連記事)米国カリフォルニア州 柑橘類の収穫量は増える見込み

[FreshPlaza 2024年9月17日](#)

カリフォルニア州の柑橘類実測調査報告書によると、2024-25年度のネーブルオレンジ出荷量の当初予測は7,800万箱(前年比2%増)に達し、マンダリンの収穫量は昨年より800万箱増加するとされている。

カリフォルニア州ポータービル市にあるピアソン農場のトニー・マルケス氏は、「今シーズンのオレンジの予測が増加しているのはうれしいことだ。現場で見る限り、予想は妥当な数値だと思う」と話す。カリフォルニア州の柑橘類の生育シーズンは、華氏100度(摂氏37.8度)に達する日が多く、暑い夏が非常に長いなどの課題があり、その結果として柑橘類への灌漑が増加したが、マルケス氏は楽観的である。(以下「」は同氏の発言。)

### 2023-24年度とアザミウマ

「このオレンジ生育シーズンで最も注目すべきことは、アザミウマの被害に関してははるかに良くなったという事実である。」言うまでもなく、去年はアザミウマが柑橘類産地の生産者に多くの問題を引き起こした。中でもオレンジの表面の擦り傷は、果実の外観に関する見た目の問題を引き起こし、生産者の収益が低下した。「生産者は、生鮮果実市場よりも収入が少ない果汁用に果実を売らなければならないこともあった。」

アザミウマの問題はまた、この害虫のために果樹園での対応により多くの時間とリソースが割り当てられたことを意味する。「被害は深刻で、多くの生産者が保険金を請求しなければならなかった。次の柑橘類シーズンに向けての状況は、全体としてははるかに良いようだ。天気が良く、不測の事態が発生しない限り、良い年になることを願っている。」

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)